～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　1型糖尿病と自己免疫性甲状腺疾患を合併した患者の臨床像』
研究機関名　東邦大学医療センター大森病院
研究責任者　糖尿病代謝内分泌センター　　職位・氏名　助教（任期）　蛭間　真梨乃

【試料・情報の利用目的】
取得した試料・情報は　1型糖尿病と自己免疫性甲状腺疾患を合併した患者さんの特徴をまとめることを目的とした研究に利用します。
この研究で得られる成果は、今後同じ疾患を合併した患者さんがいらした際、早期に診断し、治療を行うことにつながる可能性があります。

【他機関への提供】
他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】
この研究は、以下の項目について診療録から情報を収集します。
情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、肥満の有無、糖尿病罹病期間、糖尿病のサブタイプ、インスリン使用量、自己免疫性甲状腺疾患罹病期間、バセドウ病の治療経過や治療法、抗甲状腺薬使用量、橋本病の治療経過や状態、チラーヂン使用量、HbA1c、随時血糖値、FT_3、FT_4、TSH、サイログロブリン、GAD、IA-2、TRAb、TPOAb、TgAb。
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】
2024 年 1 月より試料・情報の提供を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】
東邦大学医療センター大森病院　　病院長　瓜田　純久

【試料・情報の取得方法】
対象者：2002 年 1 月～2022 年 12 月までに東邦大学医療センター大森病院 糖尿病代謝内分泌センターにおいて、1 型糖尿病及び自己免疫性甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病の診断を受けた方を対象とし、2023 年 8 月までのデータを使用します。
方　法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】
代表施設名：東邦大学医療センター大森病院　研究代表者：蛭間　真梨乃　役職：助教（任期）

【利用する者の範囲】

他の研究機関では利用いたしません

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院　糖尿病代謝内分泌センター

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2023 年 12 月 31 日までに（過去に採取した既存試料を利用する場合）下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】　東邦大学医療センター大森病院　糖尿病代謝内分泌センター

職位・氏名　助教（任期）　蛭間　真梨乃

電話　03-3762-4151　　内線　　6565